

題名 : 中川小フェスティバル

PTA 名: 大垣市立中川小学校 PTA

【事業概要】

中川小学校では、毎年 1 月に「中川小フェスティバル」を実施。

これは平成 23 年に始まった PTA と学校の共済事業で、現在まで続く伝統行事となっている（コロナ禍は中止）。

内容は高学年を対象に行なうキャリア教育（1～4 年生は国際交流や音楽鑑賞等）で、子どもたちが希望するブースを選び、職業講話や体験をする。

【事業詳細】

講師は主に保護者（外部講師の場合もある）から募集、あるいは依頼する。年度によって異なるが、毎回 12～16 くらいの様々な種類の職業ブースが用意される。

子どもたちは、それぞれのブースで「どうしてその職業についたのか、仕事のやりがいや大変さ」など、働くことについて直接話を聞いたり体験をする。事業実施後は、講師に対してお礼の手紙を書くことで保護者等とのコミュニケーションを図るとともに、講話や体験等を振り返る中で自分の将来について考える機会としている。

【事業のねらい】

○保護者等という地域の身近な大人から、仕事についての話や体験を通じて、子どもたちが将来の夢について考える機会を創り出す。

○自分が暮らす地域の仕事を知り、関心を持つことで、将来の地域人材の育成に繋がる。

○社会人としての生きがいを持つことの素晴らしさを感じてもらう。

【事業効果】

子どもたちからのお礼の手紙からは、感謝の言葉はもちろん、働くことの意味や意義あるいは自分の将来についての記述も多く見られることから、職業観や勤労観の醸成に繋がっていると感じている。

また、家族のために働く親への感謝や家族のコミュニケーションの一助にもなっている。

以下は、令和 6 年度に実施した中川小フェスティバルの様子。

実施日時 2024 年 1 月 19 日（土）

設置ブース 16 ブース（①ハンドメイド②栄養士③銀行員④警察⑤作業療法士⑥自動車関連
部品製造⑦水道設備⑧柔道整復師⑨僧侶⑩裁判所⑪郵便局⑫林業
⑬臨床工学技士⑭保育士⑮社会保険労務士⑯小売業

講師 保護者 13 名、外部講師 3 名



← 水道設備

テーマ

水道屋さんになって修理してみよう！

内容

- ・中川小での工事を解説
- ・実際に漏水させて修理を体験

裁判所 →

テーマ

これって罪になりますか？

トラブルを解決する社会の仕組み

内容

- ・三権分立と裁判所の役割
- ・法律の考え方を知る
- ・模擬裁判を体験



← 作業療法士

テーマ

リハビリって何だろう？

内容

- ・作業療法士の仕事とは
- ・マクラメ編み実践をし、この療法がどんな人に向いているのか話し合う

小売業 →

テーマ

牛乳屋さんのお仕事

内容

- ・町の牛乳屋は何をしているのか？
- ・牛乳瓶を使って体験
- ・牛乳の説明





← 栄養士

テーマ

作ってみよう！家族のための朝ご飯

内容

- ・栄養士の仕事とは
- ・栄養バランスガイドを活用し献立を考えてみる
- ・調理実習

金融業 →

テーマ

お金について楽しく学ぼう

内容

- ・お金って何？
- ・お金の歴史
- ・お金の使い方
- ・札勘を体験



職業体験した子どもたちの感想

【栄養士】

- ・不安や緊張もあったけど、職業紹介や説明が分かりやすく、知らないことが学べて良かった。
- ・料理がおいしくできて嬉しかった。少し自信がついたので、また家でも作ってみたい。

【金融業】

- ・二千円札なんて知らなかった。お金のことをもっと知り、将来はお金に関わる仕事につきたい。

【裁判所】

- ・裁判に負けた人にうらまれたり、人間のおろかさなどを知っても仕事を続けられてすごいと思った。
- ・お話やビデオを見て、裁判や刑法のことをもっと良く知りたいと思いました。

【社会保険労務士】

- ・働くということは、「誰かの何かに役立つことである」と知り、納得しました。
- ・国が実施した働く目的に対するアンケートについて、1位がお金を得るため(53.7%)、2位は生きがいを見つけるため(19.8%)とあったが、てっきり社会の一員として務めを果たすためだと思っていた。

【小売業】

- ・牛乳は季節によって味が変わったり、瓶で飲んだ方がおいしいということを初めて知った。
- ・なぜ給食で牛乳が出るのか？それはカルシウムを取るためだけだと思っていたが、昼休みに外で遊ぶ(陽を浴びる)ことでカルシウムとビタミンが合わさって骨が出来るという工夫がされている事を知った。

【その他】

- ・1講座だけでなく、他の講座も受講してみたかった。

等々